

科目名	社会貢献の方法と実践	担当教員	白戸一秀 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	必修	1年次	前期	1単位	講義

科目概要	「社会的障壁」の除去と「合理的配慮」の普及を謳う障害者権利条約が2007年に批准され、その後の制度改革はわが国の医療・福祉に大きなインパクトを与えています。今日、「人の幸せ」を社会的な脈絡でとらえ、他人の「生きづらさ」を気にかける地域づくりが要請されていますが、ここに貫かれるのが「社会連帯」と「社会貢献」の思想と行動であり、専門職同士や専門職と地域社会とのネットワークの形成です。「全人間的復権」をめざすリハビリテーション専門職にとって、人の生きることへの喜びと感謝を受けとめて支援する「価値と態度」を醸成することはとても大切です。本講義では、以上の学びとともに、具体的なボランティア活動体験とおして、実践に際して必要な留意点を学ぶとともに、社会貢献活動を促進調整するコーディネイトの実際を学びます。
学習目標	社会貢献活動の思想と実践についての導入である。他者の痛みの分かる心を持ち、他者の立場になって行動する態度を身につけることを目標とする。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	慈善から社会福祉へ	社会福祉とは何か	「人の幸せ」を社会的な脈絡においてとらえる社会福祉の意義を学ぶ	
2	社会福祉とシティズンシップ	社会福祉の今日的意義を理解できる	「市民」の意味、「公益」「公共益」の思想と価値、その活動を学ぶ	
3	社会的孤立と排除の克服	地域福祉の展開と市民参加の意義	社会福祉の概念と他者の「生きづらさ」を気にかける地域づくりを考える	
4	地域社会の協働と連帯	地域福祉の主体とネットワーク	多様な地域ネットワークの形成によって実現する福祉・共生社会の思想と実践を学ぶ	
5	ボランティアセンターの役割	ボランティア活動の歴史と状況	市民参加の普及と拡大、活動支援の社会的な仕組みを学ぶ	
6	ボランティア活動の展開	多様なボランティア活動と地域連携の実際	生活問題の拡大と多様な市民活動の実態を知り、目指す地域システムを考える	
7	特定非営利活動法人と社会貢献活動	特定非営利活動法人制度とその展開	社会貢献活動を推進・支援する法制度と社会福祉など関連制度との関係を学ぶ	
8	多様な「ボランティア活動」体験	千歳市社協ボランティアセンター、関係施設	ボランティア・社会貢献活動を体験する	
評価方法		筆記試験(40%)、講義出席状況(60%)で評価する。		
教科図書		各回の授業で紹介します。		
参考図書		とくに必要ありません。		
学習の準備		あらかじめ配付した資料を読んでおき、指定した参考図書について予習をしておくこと。		
オフィスアワー		在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験				

